

## 《留学生向け特別授業（2単位）》

学部：日本法入門

大学院：法政理論特殊講義（修士課程）

法政理論特別研究（博士後期課程）

このことについて、下記のとおり開講しますので、履修希望者は担当係（学部生：教務担当、研究生・大学院生：学事担当）で履修登録期間に登録してください。

記

### 【授業内容】

学部生、研究生、大学院生として来日したばかりの留学生を対象に、日本の法学・政治学の基礎的理解を得ることを目的とする授業（詳細については、別紙参照）

### 【担当教員】

齋藤由起、開出雄介、小名木明宏、尾崎一郎、辻康夫

### 【授業日程】（予定）

10月 6日（月）	1 講目	（担当：齋藤由起）
10月15日（水）	1 講目	
10月20日（月）	1 講目	
10月27日（月）	1 講目	（担当：開出雄介）
10月30日（木）	1 講目	
11月10日（月）	1 講目	
11月17日（月）	1 講目	（担当：小名木明宏）
12月 1日（月）	1 講目	
12月 8日（月）	1 講目	
12月15日（月）	1 講目	（担当：尾崎一郎）
12月22日（月）	1 講目	
1月 5日（月）	1 講目	
1月13日（火）	1 講目	（担当：辻康夫）
1月19日（月）	1 講目	
1月28日（水）	1 講目	

全15回

### 【実施方法】

対面授業

### 【評価方法】

授業参加態度及び各担当教員のレポートによる。

**○担当：齋藤 由起（3回）**

本講義は、日本の民事法に関する基礎的知識の習得を目的とするものである。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①日本民法の成り立ちと民法の構造
- ②物権法の諸問題
- ③債権法の諸問題

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。

**○担当：開出 雄介（3回）**

国際法と国内法の関係に関して講義を行う。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①国際法秩序における国内法
- ②国内法秩序における国際法 1
- ③国内法秩序における国際法 2

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。

**○担当：小名木 明宏（3回）**

本講義では、刑事法に関する基礎的知識の修得を目的とする。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①刑法総論の諸問題。
- ②刑法各論の諸問題。
- ③刑事法のその他の諸問題。

受講者には、それぞれの国の制度について説明を求めるので、各自自国の六法を持参するように。

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。

**○担当：尾崎 一郎（3回）**

欧米諸国の法制度をほぼそのまま取り入れた近代日本法は、そうであるがゆえに社会の実状との間に様々な懸隔を有することになった。法をめぐる、制度・思想・行動の循環的關係を念頭に、近代日本社会が「法」をどのようなものとして経験し認識してきたか、法社会学的観点から講じる。

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。

**○担当：辻 康夫（3回）**

本講義では、日本の政治に関する基礎的知識の修得を目的とする。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①日本の政治システム
- ②日本のマイノリティ問題
- ③日本政治の課題

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。